

奈弓連だより

通巻 286 号

令和 7 年 12 月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 阪中計夫
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先: henshu@narakyudo.jp

県連講習会 錬士六段の部 2 日目

無駄のない、隙のない動きを目指して

11 月 24 日 (祝・月)、橿原公苑弓道場において、表題の講習会の第 2 回が開催されました。

9 月に行われた第 1 回に引き続き、「称号受有者の基本体の姿勢及び基本動作の習得」「教士を目指しての射技・体配の向上」「指導者としての資質の向上」を目的に、主任講師の教士七段西浦範光先生の熱い指導の下、1 日真剣に自分の射と向き合いました。

一手行射の後の講評では、まだまだ無駄な動きが多いとの指摘を受けました。日頃の練習で細かい動きをチェックしてくれる人が近くにいるか、いい加減な練習をしていないか、何が必要なのか、何が足りないのか、もっと自分自身で考えないといけないと耳の痛いお言葉でした。佐竹万里子範士は生前よく「武の構えができていますか」とおっしゃっていたそうです。武の構えとは全くの隙の無い構えのこと。余計な無駄な動きをすれば隙が生まれる、それは目の動きに一番現れるとのことでした。そして、「あたりも肝心である、あたるのは簡単、的をまっすぐに狙ったところにまっすぐ離せばあたる、それがあたらないのは余計なことをしているから。」との指摘も胸に刺さりました。

肌脱ぎ・襷さばきの研修では徹底して無駄な動きをそぎ落とす練習をし、その後の射技研修では、手の内を指摘されている方が多かった印象でした。残心で弓手を落とさず、振らず、バチっとその位置で鋭く離すための練習を、ひとりひとり時間と矢数をかけて指導していただきました。一つの射礼研修では、位取りでは

昇格・昇段おめでとうございます

審査会において次の方々が昇段昇格されました。

(11 月 29・30 日開催 近畿地区臨時中央審査会
プロシードアリーナ HIKONE 彦根市弓道場)

六段

太田 和宏さん (奈良支部)

錬士

宮脇 紀行さん (郡山支部)

(12 月 14 日開催 第 3 回地連審査会 橿原)
四段

高木 良偉さん (奈良大)

田中 克也さん (郡山支部)

加護 さゆりさん (橿原支部)

福岡 良剛さん (橿原支部)

原川 亜希子さん (橿原支部)

松田 広美さん (橿原支部)

眞鍋 由紀さん (奈良支部)

おめでとうございます。 (事務局)

道場の大きさを十分に使う位置に定め座を取ること、歩数を増やして道場の広さを示すように指導されました。歩くときの視線と縦線の意識、そして 3 人で合わせる意識は必要だけど、合わせることにだけ気が奪われないようにとのお話に、まずは自分の動きをしっかり呼吸に合わせて自信をもってできることが肝心と改めて気を引き締めました。

仕上げの一手行射では、指導されたことをうまく反映できた人、やろうと心掛けた人、まだうまくできない人など様々でしたが、この日の指導を生かすも殺すもこれからの私たちの練習と姿勢にかかっています。

「大きく引いてまっすぐ矢線に鋭く離す。そのための努力をこれでもかと続けていくこと。試行錯誤するのが練習です。妥協はいつでもできる、もう少しもう少



しと努力してください。」

閉講式での西浦先生の言葉を聞いて、私には教士なんてまだまだ遠いと思っていましたが、遠いからこそ挑み甲斐があると鼻息荒く拳を握りました。

1 日ご指導いただいた西浦先生、ありがとうございます。あわせて阪中会長、藤岡理事長、指導部の皆さんにも大変お世話になりありがとうございました。

鎌六のみなさん、共にがんばりましょう！

(奈良支部 揚田よう子)

第 51 回奈良県中学校弓道新人大会

団体優勝 男子 樫原中 A、女子は白樫中 A

標題の大会が樫原公苑弓道場において 11 月 16 日(日)に行われました。天候に恵まれ弓を引くには絶好のコンディションでした。団体は男子が樫原中 A、女子は白樫中 A が優勝しました。参加人数は男子 33 名、女子 70 名でした。結果は以下の通りです。

<個人戦>

1 年男子

優勝 島田 晃紘 (樫原中)
2 位 小池 悠月 (香芝中)
3 位 塚本 涼雅 (香芝中)

1 年女子

北野 結菜 (香芝中)
岩井 絢愛 (香芝中)
牧浦 古都実 (香芝中)

2 年男子

優勝 吉原 一翔 (樫原中)
2 位 岩崎 亮磨 (香芝中)
3 位 大塚 崇祐 (香芝中)

2 年女子

廣川 実優 (香芝中)
安本 結衣 (白樫中)
田中 咲帆 (白樫中)



個人戦の入賞者

前列左から 2 年男子 1 位～3 位、女子 1 位～3 位
後列左から 1 年男子 1 位～3 位、女子 1 位～3 位

<団体戦>

男子

優勝 樫原中 A (吉原 一翔、島田 晃紘、南 颯知)
2 位 香芝中 B (塚本 蒼大、土家 大輝、山口 結心)
3 位 香芝中 A (岩崎 亮磨、岩井 蓮晟)

女子

優勝 白樫中 A (廣瀬 瑛蓮、田中 咲帆、安本 結衣)
2 位 樫原中 A (豊後 優里、山田 結菜、廣川 実優)
3 位 香芝中 D (牧浦 楓七、尾上 千依紗、岩井 絢愛)



男子団体の入賞者前列 1 位、後列左 2 位、右 3 位



女子団体の入賞者前列 1 位、後列左 2 位、右 3 位

(中体連 大隅 成悟)

講習会の日程変更について

標記の件につきまして、すでにお知らせしているところですが、改めて以下のとおりお知らせします。

[変更前]

県連講習会 四・五段対象 第 2 回 R7. 11. 9
称号者研修会 R8. 2. 14～2. 15
奈良県大学連合会講習会 第 2 回 R8. 3. 1

[変更後]

県連講習会 四段対象 第 2 回 R7. 10. 26
県連講習会 五段対象 第 2 回 R8. 2. 14
奈良県大学連合会講習会 第 2 回 R8. 2. 15
称号者研修会 R8. 2. 28～3. 1

第 33 回近畿高等学校弓道選抜大会

女子団体 桜井高校が優勝

男子団体 畝傍高校が 3 位入賞

標題の大会が、11 月 22 日と 23 日に京都市武道センター弓道場において開催されました。結果は以下のとおりです。

<個人戦>予選（4 射 3 中以上予選通過）

女子	上村 遙（桜井）	1 中
	村山 希実（樫原）	3 中→通過
	川元 幸来（法隆寺国際）	1 中
	森内 英奈（桜井）	2 中
	笹井 陽奈（桜井）	3 中→通過
	松本 結月（桜井）	4 中→通過
男子	山口 泰世（桜井）	3 中→通過
	堀井 魁星（五條）	2 中
	丹喜 仁一朗（畝傍）	3 中→通過
	永田 一颯（桜井）	4 中→通過
	奥野 幹（奈良）	2 中
	小谷 正敬（高田商業）	2 中

女子個人の部 入賞

決勝成績

第2位	松本 結月	(桜井)	〇〇〇〇×	
第5位	村山 希実	(樫原)	〇〇×	遠近
第8位	笹井 陽奈	(桜井)	×	遠近

男子個人の部 入賞

第 7 位	山口 泰世（桜井）	〇×	遠近
第 8 位	丹喜 仁一朗（畝傍）	〇×	遠近

（射詰 5 射目より 8 寸的）



個人入賞者 左から 村山・笹井・松本・山口・丹喜

<団体戦>予選（各自 4 射チーム 12 射

上位 8 校が決勝トーナメント進出）

女子 桜井 8 中→通過

（藤田 美桜、上村 遙、狩野 結愛、松長 凜）

樫原 9 中→通過

（増田 乃愛、村山 希実、辰巳 明優、山本 綾美）

奈良 4 中

（中塚 由芽、村上 実、宮崎 結花、衛 実裕子）

男子 樫原 5 中

（牧浦 正登、金澤 宏咲、小池 遥斗、徳田 雄仁）

高田商業 7-3 中→通過

（森 琉斗、横谷 日陽輝、小谷 正敬、横谷 諒登）

畝傍 8 中→通過

（野上 航弥、森川 琉太良、丹喜 仁一朗、愛須 涼太）

決勝トーナメント

女子 1 回戦

桜井 10 中で勝ち 樫原 7-1 中で負け

準決勝

桜井 10 中で勝ち

決勝

桜井 9 中で勝ち ⇒ 桜井が第 1 位

男子 1 回戦

高田商業 5 中で負け 畝傍 8 中で勝ち

準決勝

畝傍 3 中で負け ⇒ 畝傍が第 3 位



前列 女子団体第 1 位 桜井高校

後列 男子団体第 3 位 畝傍高校

（高体連 布施 慈人）

第 36 回奈良県大学選手権大会

各大学が協力し、大会運営を通して交流を深める

標記の大会が 11 月 23 日（日）に樫原公苑弓道場で行われました。今年度は主幹校を奈良県立医科大学が務めさせていただきました。

大会開催時期が本大学の幹部交代直後であったこともあり、大会の進行に少し不安がありました。しかし、いざ始まってみると他大学の皆様のご協力や師範、コ

一チ方のご指導のお陰で無事大会を終えられたことを嬉しく思います。また、幸運なことに進行を円滑に進められた甲斐もあって終了時刻を大きく巻いて試合が終了したので、道場を開放し射込みの時間を設けることが出来ました。この自由時間や、お昼の交流会など奈良県の大学同士で十分に交流を行うことが出来たと感じています。結果は以下のとおりです。

男子団体 第1位 天理大学 A チーム

第2位 天理大学 B チーム

第3位 奈良大学 E チーム

女子団体 第1位 天理大学 A チーム

第2位 奈良県立医科大学 A チーム

第3位 奈良女子大学 A チーム



男子団体 左から 2位 1位 3位



女子団体 左から 2位 1位 3位

男子個人 第1位 多田 隆之介 (奈良大学)

第2位 井内 良 (奈良県立医科大学)

第3位 寺谷 仁良 (奈良県立医科大学)

女子個人 第1位 加藤 晴 (天理大学)

第2位 藤井 碧 (奈良県立医科大学)

第3位 長江 和葉 (奈良県立医科大学)



個人入賞者 中央が1位、両端に向かって2位、3位

(奈良県立医科大学 五十嵐 昂)

第43回奈良女子弓道大会

中学から一般まで114名的女子が熱戦と運営を経験

11月24日(月祝)、暖かな秋晴れのなか、ロート奈良(奈良市)弓道場において奈良女子弓道大会を開催しました。

奈良県的女子が一堂に集まり、中学1校、高校4校、大学4校を含む団体35チームと個人9名が参加。「優雅のうちに、容姿凛然たること」を目指した熱戦を繰り広げるとともに、実践のなかで大会運営を学ぶ機会となりました。

各自4射ずつ2回(1チーム24射)で行い、団体戦では14中の奈良Kが優勝。個人戦では弐段以下の部は5人以上2名で1・2位の射詰、4中9名で遠近競射を行い、参段以上の部は6名が決勝に進み、凌を削りました。結果は次のとおりです。

<団体>

1位 奈良K(土谷 ひろみ、藤森 康恵、吉野 みほ子)

2位 天理大(加藤 晴、片山 綾菜、寺嶋 来望)

3位 橿原C(植島 直子、小林 利恵子、和田 麻利)

<個人>

弐段以下の部

1位 加藤 晴(天理大)

2位 浦井 風歩(奈教大)

3位 松田 絢花(国際中)

参段以上の部

1位 仲倉 牧子(橿原B)

2位 梅崎 康代(錬弓会)

3位 吉野 みほ子(奈良K)



団体入賞者のみなさん

(奈良支部 高倉 美香)

編集後記

県連講習会記事中にある「的をまっすぐに狙ったところにまっすぐ離せばあたる、それがあたらないのは余計なことをしているから。」との御指摘。編集しながら自分事のように感じていました。残り少ない今年を、基本に立ち返って稽古しなければ、と気持ちが引き締められました。

(編集担当 中西 省五)